

ハッチョウトンボ観察& 大井沢で一日昆虫博士



昆虫観察

第1回朝日自然塾(※1)を7月8日(土)に山形県西川町大井沢で西川町役場、西川町大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館の協力を得て実施しました。

昨年は雨天のためハッチョウトンボ(※2)観察は取り止めとなりましたが、今年は好天に恵まれ西川町、山形市、新庄市等7市町から22名の家族が集まりました。

午前は、カッチャバ湿原で昆虫や植物等の観察を行いました。ウルシに触らないことや、蜂が寄ってきても手で払わない等の注意すべきことを学びながら、お目当てのハッチョウトンボを探しましたが、時期が早かったため残念ながら確認できませんでした。しかし大井沢では珍しい、ヒメギフチョウの幼虫を観察したり、オゼイトトンボ等は沢山確認できました。また、クマタカの飛翔も確認できました。

午後は、昆虫博士が集めた昆虫の標本を使ってクワガタムシ等の生態の説明やヘラクレス等の珍しい標本や色鮮やかな標本を見せてもらいました。

また、クワガタムシを採集する方法として、生息場所や採集方法と注意点について話を聞きました。



標本を使って説明

※1：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりを持つ各団体が協力し、朝日山地及びその周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため「朝日自然塾」を企画実践しています。

※2：ハッチョウトンボ(八丁蜻蛉、*Nannophya pygmaea*)は、トンボ科ハッチョウトンボ属のトンボの一種。日本一小さなトンボとして知られ、世界的にも最小の部類に属する。